



県立広島大学・生命環境学部附属 フィールド科学教育研究センター

2014年で設立4年目を迎えました。今年度も中四国大学間連携フィールド演習に参加し、食品資源フィールド科学演習（2回目）を開催しました。6次産業化を継続して主テーマに掲げ、他の7大学から12名の参加を含め計18名で実施しました。農作物の獣害が多く発生し、冷夏長雨で平年の4割を切る日照時間にも悩まされました。フィールド科学卒論は今年度も公開発表し盛況でした。



中四国大学連携の食品資源フィールド科学演習では、野菜やブドウの栽培管理・収穫、品質分析、ジュース作り、パン・ピザ加工に加え、地元の直売所3箇所での販売やリンゴ農家の経営戦略なども学びました。教員や学生間交流も充実し、最後は4班それぞれの課題報告のプレゼンテーションで締めくくりました。



イノシシ等の農作物被害が数多く発生し、学生にも注意喚起と電柵の設置を行いました。また、冷夏長雨で太陽を見ない夏となりました。



2014年度備北バイオフォーラムで地域課題8件のフィールド科学卒論を公開発表しました。特産野菜、加工品、木材資源、過疎化対策等に学生が提言しました。

所在地 〒727-0023 広島県庄原市七塚町562

TEL : 0824-74-1780 Eメール : kohmura@pu-hiroshima.ac.jp